



# JBL CINEMA SB120



取扱説明書

---

## 重要な安全上の注意

### 使用前に電源電圧を確認する

JBL CINEMA BAR 120(サウンドバー)は100~240ボルト、50/60HzのAC電流で使用するよう設計されています。本製品が対応していない電源電圧に接続すると、安全上の問題および火災の危険があり、本機に損傷を与える可能性があります。特定のモデルの電圧の必要性、またはお住まいの地域の電源電圧についてご質問がありましたら、壁のコンセントに本機をつなぐ前に販売店またはカスタマーサービスにご連絡ください。

### 延長コードは使用しないこと

危険を回避するため、本機に付属した電源コード以外は使用しないでください。本製品に延長コードを使用することはお勧めできません。全ての電気器具と同様、電源コードをじゅうたんまたはカーペットの下に通したり、上に重いものを置かないでください。破損した電源コードが同梱されていた場合は、認定サービスセンターがただちに工場の仕様に適合したものにお取替えます。

### AC電源コードは丁寧に扱う

ACコンセントから電源コードを外す時は、常にプラグを持つようにしてください。絶対にコードを引っ張らないでください。長期間このスピーカーを使用するつもりがない場合、ACコンセントからプラグを外してください。

### 本体を分解しない

本製品内にはお客様が修理できる箇所はありません。本体を開けると感電する可能性があります。製品に何らかの改造を行うと、お持ちの保証書が無効になります。水が誤って本機内に入った場合、ただちにAC電源から本体を取り外し、認定サービスセンターにご相談ください。

# 目次

<b>重要な安全上の注意</b>	<b>2</b>	<b>8 工場出荷時設定への復元</b>	<b>12</b>
<b>1 はじめに</b>	<b>4</b>	<b>9 ソフトウェアのアップデート</b>	<b>12</b>
<b>2 同梱品</b>	<b>4</b>	<b>10 製品仕様</b>	<b>13</b>
<b>3 製品の概要</b>	<b>5</b>	<b>11 トラブルシューティング</b>	<b>13</b>
3.1 操作とインジケータ	5	<b>12 商標</b>	<b>14</b>
3.2 コネクタ	5	<b>13 オープンソースのライセンスに関する注意</b>	<b>15</b>
3.3 リモコン	6		
<b>4 設置</b>	<b>7</b>		
4.1 台への設置	7		
4.2 壁への取り付け	7		
<b>5 接続</b>	<b>8</b>		
5.1 TVへの接続	8		
5.2 BLUETOOTH接続	8		
<b>6 再生</b>	<b>9</b>		
6.1 電源オン/オートスタンバイ/オートウェイクアップ	9		
6.2 TVソースからの再生	10		
6.3 BLUETOOTHソースからの再生	10		
<b>7 サウンドの設定</b>	<b>11</b>		
7.1 あらかじめ定められたEQ設定	11		
7.2 ボイスモード	11		

## 1 はじめに

JBL CINEMA BAR 120(サウンドバー)をお買い上げいただき、ありがとうございます。本製品は、ずば抜けたサウンドを生み出すように設計された、ホームエンターテインメントシステムです。少々お時間を割いて、この取扱説明書に目を通されることをお勧めします。この取扱説明書では製品に関する説明と使用開始するまでの各手順をひとつひとつ説明しています。

**製品の機能とサポートをフル活用するには、USBコネクタで製品のソフトウェアをアップデートする必要があります。この取扱説明書のソフトウェアアップデートセクションを参照して製品のソフトウェアが最新バージョンになっていることを確かめください。**

設計と仕様は予告なしに変更されることがあります。サウンドバーと設置または操作について何かご質問がありましたら、販売店またはカスタマーサービスにご連絡いただくか、または当社のウェブサイト、[www.jbl.com](http://www.jbl.com)をご覧ください。

## 2 同梱品

注意して箱を開封し、以下の物が同梱されていることを確かめください。いずれかが破損している、または見当たらない場合は、小売店またはカスタマーサービスにご連絡ください。

### 本体



### リモコン(単4乾電池2本付属)



### 電源コード\*

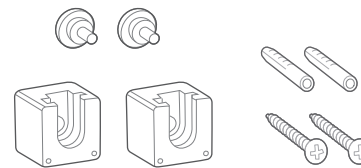


\*電源コードの本数とプラグタイプは地域によって異なります。

### HDMIケーブル



### 壁取り付け用キット





## 3 製品の概要

### 3.1 操作とインジケータ

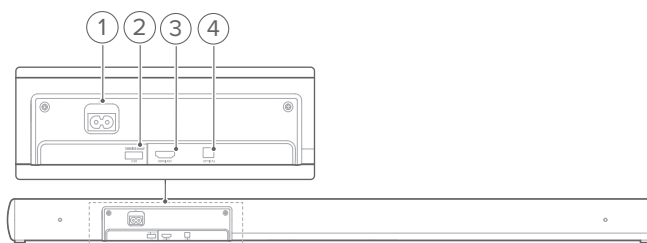


1. **⏻ (電源)**
  - 電源をオンまたはスタンバイ状態にする
2. **-/+ (音量)**
  - 音量の増減
  - 押し続けると音量が増減していきます。
  - 両方の音量ボタンを同時に押すと、スピーカーをミュートするか、またはミュート状態を解除します。
3. **Ⓞ (ソース)**
  - 入力音源を選択してください:**Bluetooth** (デフォルト) または **HDMI ARC** (HDMI ARCコネクタを通してTVに接続)、または **光デジタル端子** (OPTICALコネクタを通してTV/デジタルデバイスに接続)

#### 4. ステータスインジケータ

●	赤色で点灯	スタンバイモードに入る
○	白色で点灯	HDMI ARCソースを選択済み
●	アンバー色で点灯	光デジタル端子ソースを選択済み
●	青色で点灯	Bluetoothに接続済み
⦿	青色で素早く点滅	Bluetoothペアリングモードに入る
⦿	青色で点滅	音量の変更中
⦿	青色でゆっくり点滅	音量が最大 サウンドがミュートされている

### 3.2 コネクタ

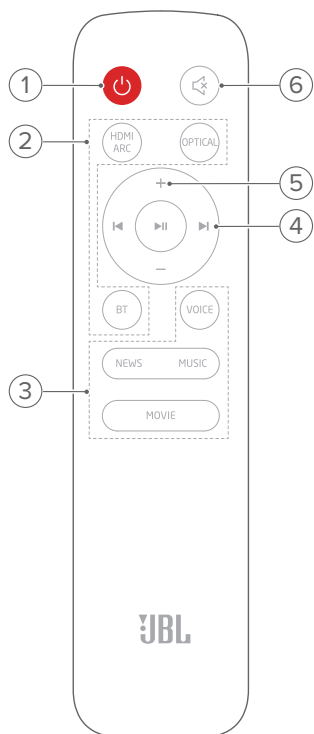


1. **AC~**
  - 電源への接続
2. **USB**
  - ソフトウェアアップデート用USBコネクタ
  - オーディオ再生用のUSBストレージデバイスに接続 (米国バージョンのみ)
3. **HDMI ARC**
  - TVのHDMI ARC入力に接続します

#### 4. OPTICAL

- TVまたはデジタルデバイスの光デジタル出力と接続します

### 3.3 リモコン



#### 5. +/-

- 音量を増減します
- 押し続けると、連続で増減します。

#### 6. (ミュート)

- ミュート/ミュート解除

#### 1. 電源

- 電源をオンまたはスタンバイ状態にする

#### 2. 入力切替

##### HDMI ARC

- HDMI ARCソースを選択します

##### OPTICAL

- 光デジタル端子ソースを選択します

##### BT

- Bluetoothソースを選択します
- 長押しすると、別のBluetooth対応デバイスと接続することができます

#### 3. サウンドエフェクトボタン

##### NEWS /MUSIC/MOVIE

- ニュース/ミュージック/ムービー用にあらかじめ定められたEQ(イコライザー)設定を選択します

##### VOICE

- ボイスモードを選択してボーカルの明瞭度を上げます

#### 4. 再生ボタン

##### ◀▶

- Bluetoothソース:1つ前か、次のトラックにスキップします

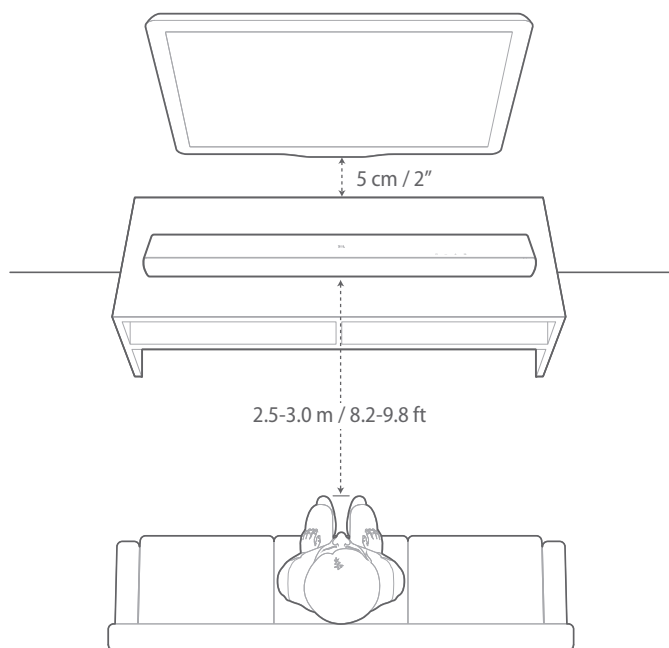
##### ⏮⏭

- Bluetoothソース:再生または一時停止

## 4 設置

### 4.1 台への設置

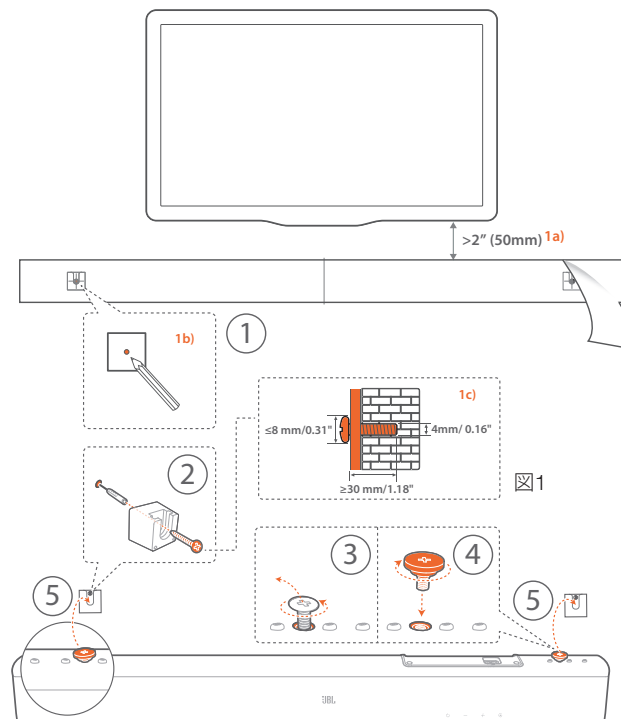
サウンドバーは水平で安定した机の上に設置してください。



#### 注:

- 電源コードを正しく電源に接続してください。
- サウンドバー、またはサブウーファーの上には何も置かないでください。

### 4.2 壁への取り付け



#### 1. 準備:

- TVから最低50mm離して、粘着テープで付属の壁取り付け用型版を貼り付けてください。
- ボールペンでねじ穴の位置に印を付けてください。その後、型紙を取り外してください。
- 印を付けた壁に4mmの穴を開けてください。ねじのサイズについては図1をご覧ください。

#### 2. 壁取り付け用金具を取り付けます。

- 図に示されているように、ドライバーを使って固定されているねじを取り外します。

#### 4. 付属の取り付けキットに同梱されている壁取り付けねじで固定します。

#### 5. サウンドバーを壁に取り付けます。

#### 注:

- 事前に壁がサウンドバーの重量に耐えられることを確認してください。
- 垂直の壁以外には取り付けしないでください。
- 高温、または高湿度状態で設置しないでください。
- 壁に取り付ける前に、サウンドバーと外部機器間のケーブルが全て正しく接続されていることをご確認ください。
- 壁への取り付け前に、サウンドバーの電源が入っていないことをご確認ください。電源が入っていると、感電の原因となることがあります。

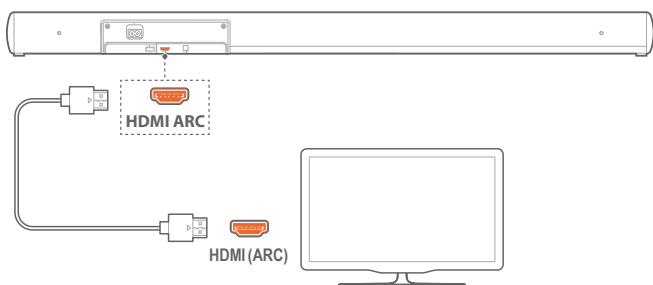
## 5 接続

### 5.1 TVへの接続

付属のHDMIケーブル、または光デジタル端子ケーブル(別売)を使って、サウンドバーをTVに接続してください。

#### 付属のHDMIケーブルを使う

HDMI接続は、ケーブル1本でオーディオとビデオ両方を出力できます。HDMIに対応しているテレビの場合は、この接続方法を推奨します。

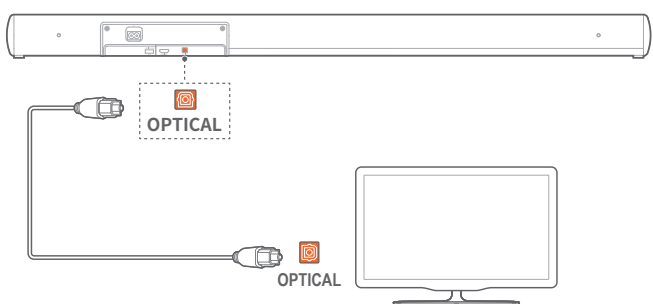


1. 付属のHDMIケーブルを使って、サウンドバーをTVに接続してください。
2. TVがHDMI-CECとHDMI ARCに対応しているかどうかをご確認ください。詳細についてはTVの取扱説明書をご参照ください。

#### 注:

- HDMI-CEC機器への完全対応は保証できません。
- TVのHDMI-CEC対応に問題がある場合は、TVのメーカーにお問い合わせください。

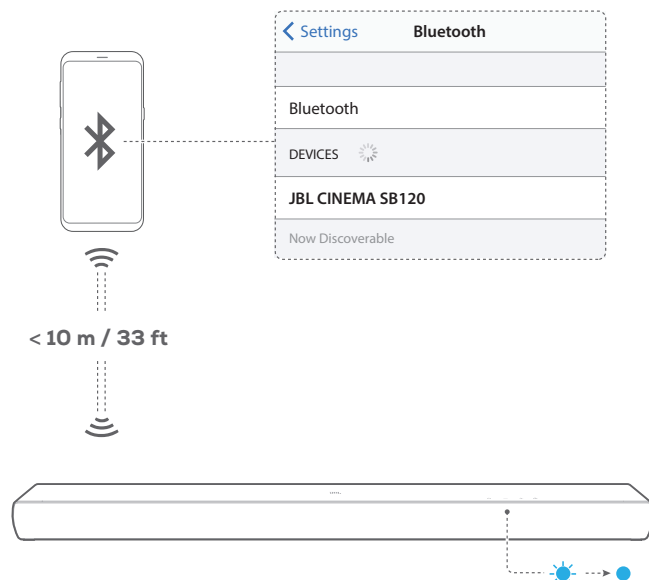
#### 光デジタル端子ケーブルを使う



- 光デジタル端子ケーブル(別売)を使って、サウンドバーをTVに接続してください。

### 5.2 Bluetooth接続

Bluetoothで、スマートフォン、タブレット、ノートパソコンといったBluetooth対応デバイスにサウンドバーを接続してください。



#### Bluetooth対応デバイスへの接続

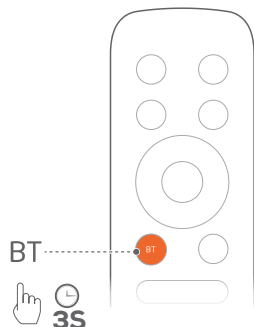
1. **⏻** を押して電源を入れてください(「6 再生」の章の「6.1 電源オン/オートスタンバイ/オートウェイクアップ」をお読みください)。
2. Bluetoothソースを選択するには、サウンドバーの **G** ボタン、またはリモコンの **Bluetooth** ボタンを押してください。  
→ ペアリングの準備:ステータスインジケータが青色で点滅します。
3. Bluetooth対応デバイスでは、Bluetoothを有効にすると3分以内に「JBL CINEMA SB120」を検索します。  
→ 接続済み:ステータスインジケータが青色で点灯します。確認音が鳴ります。

#### 最後にペアリングしたデバイスを再接続するには

本機はスタンバイモード時も接続したBluetooth対応デバイスを記憶しています。次の機会にBluetoothソースに切り換えた際、自動的に最後に接続したデバイスとの再接続を行います。



別のBluetooth対応デバイスに接続するには



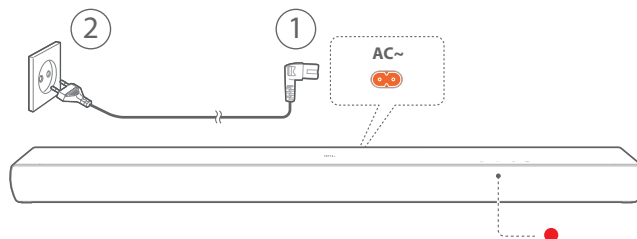
- Bluetoothソースでステータスインジケータが青色で点滅するまで、サウンドバーの **BT**、またはリモコンの **BT** ボタンを長押しします。  
→ サウンドバーがBluetoothペアリングモードに入ります。ステータスインジケータが青色で点滅します。
- 「Bluetooth対応デバイスへの接続」のステップ3に従ってください。
  - 他のデバイスがサウンドバーとペアリングされている場合は、まずデバイス上の「**JBL CINEMA SB120**」のペアリングを解除してください。

#### 注:

- Bluetooth接続は、サウンドバーとBluetooth対応デバイスの距離が10mを超えている場合、接続が切れてしまいます。
- 電子機器があると、電波が干渉を受けることがあります。電子レンジ、ワイヤレスLANデバイスなどの電磁波を出す機器はサウンドバーのメインユニットに近づけないでください。

## 6 再生

### 6.1 電源オン/オートスタンバイ/オートウェイクアップ



#### 電源オン

- 付属の電源コードを使って、サウンドバーを電源に接続してください。
- ⏻ ボタンを押して電源を入れます。

#### 注:

- 付属の電源コード以外は使用しないでください。
- サウンドバーの電源を入れる前に、他の接続（「5 接続」の章の「5.1 TVへの接続」をお読みください）が全て完了していることをご確認ください。

#### オートスタンバイ

サウンドバーが10分以上作動しない場合、自動的にスタンバイモードに切り替わります。次の使用時にサウンドバーの電源を入れると、最後に選択されたソースに戻ります。

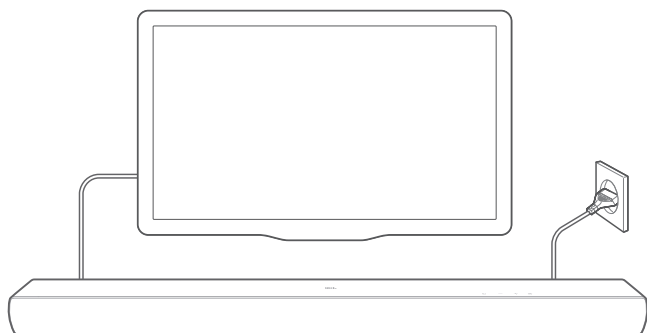
#### オートウェイクアップ

サウンドバーは下記の場合に自動的にスタンバイモードから復帰します

- サウンドバーがHDMI ARCでTVと接続されている場合は、TVの電源が入った時、
- サウンドバーは光デジタル端子ケーブルによってTVに接続され、光デジタル端子ケーブルからのオーディオ信号を検知します。

## 6.2 TVソースからの再生

TVの音声を接続したサウンドバーのスピーカーで楽しむことができます。



1. TVが外部スピーカーに対応するように設定されていて、TV内蔵スピーカーが無効になっていることをご確認ください。詳細についてはTVの取扱説明書をご参照ください。
2. サウンドバーがTVに正しく接続されていることをご確認ください（「5 接続」の章の「5.1 TVへの接続」をお読みください）。
3. TVソースを選択するには、サウンドバーの **G** ボタン、またはリモコンの **HDMI ARC/OPTICAL** ボタンを押してください。
  - お持ちのTVが **HDMI ARC** コネクタを通してサウンドバーに接続されている場合、ステータスインジケータが白色で点灯 (○) に変わります。
  - お持ちのTVが **OPTICAL** コネクタを通してサウンドバーに接続されている場合、ステータスインジケータがアンバー色で点灯 (●) に変わります。

### 6.2.1 TVリモコンの設定

TVのリモコンでTVとサウンドバー両方を操作するには、TVがHDMI-CECに対応していることをご確認ください。TVがHDMI-CECに対応していない場合は、「TVリモコンラーニング」の手順に従ってください。

### HDMI-CEC

TVがHDMI-CECに対応している場合は、TVの取扱説明書に記載されている機能を使用できます。TVリモコンを通してサウンドバーの音量の+/-、サウンド、ソース、および電源オン/スタンバイ機能を操作することができます。

### TVリモコンラーニング

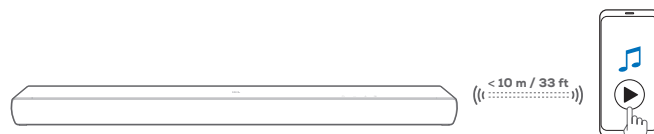
赤外線コマンド学習機能を使って、赤外線信号を使用しているTVのリモコンのいくつかの操作をサウンドバーに学習・対応させることができます。

1. サウンドバーをスタンバイモードに切り替えたことを確認してください。
2. サウンドバーで、ステータスインジケータがアンバー色で点滅するまで **⏏** と **+** ボタンを長押ししてください。
  - TVのリモコンコマンド学習モードに入ります。

3. 数秒以内に、サウンドバーとTVリモコンで以下の操作を行ってください：
  - a) サウンドバー：以下のボタンのいずれか1つを長押ししてください：**+**、**-**、**G** および **⏏**。ステータスインジケータが赤色で三回点滅するまで。
  - b) TVリモコン：好きなボタンを二度押ししてください。
    - サウンドバーでステータスインジケータがアンバー色で点滅した場合、TVリモコンのボタンがサウンドバーボタンの機能を学習しています。
4. ボタンラーニングを完了するには、ステップ3を繰り返してください。
5. TVリモコンラーニングモードを終了するには、ステータスインジケータがアンバー色で三回点滅するまで、サウンドバーの **G** と **+** ボタンを長押ししてください。

## 6.3 Bluetoothソースからの再生

Bluetoothを使って、Bluetooth対応デバイスからサウンドバーにオーディオをストリームします。

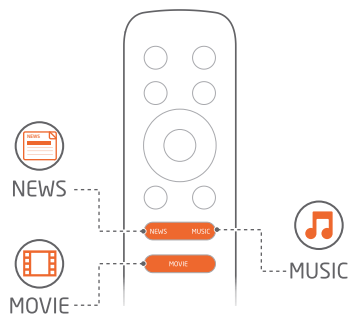
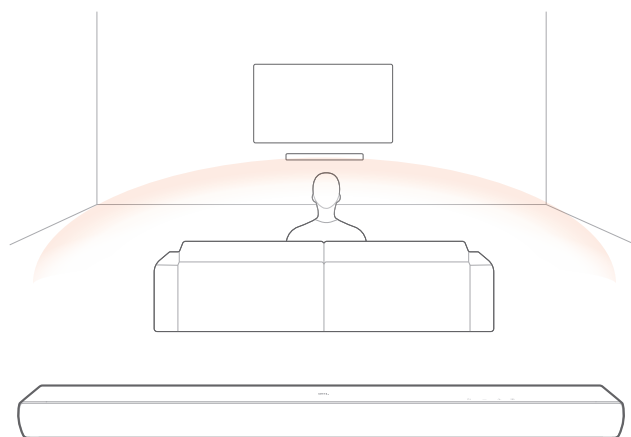


1. サウンドバーがBluetooth対応デバイスに正しく接続されていることをご確認ください（「5 接続」の章の「5.2 Bluetooth接続」をお読みください）。
2. Bluetoothソースを選択するには、サウンドバーの **G** ボタン、またはリモコンの **Bluetooth** ボタンを押してください。
3. Bluetooth対応デバイスで音楽再生を開始します。
4. サウンドバーまたはBluetooth対応デバイスの音量を調節します。

## 7 サウンドの設定

### 7.1 あらかじめ定められたEQ設定

オーディオ再生するにはリモコンで、あらかじめ定められたイコライザー (EQ) 設定を選択してください。



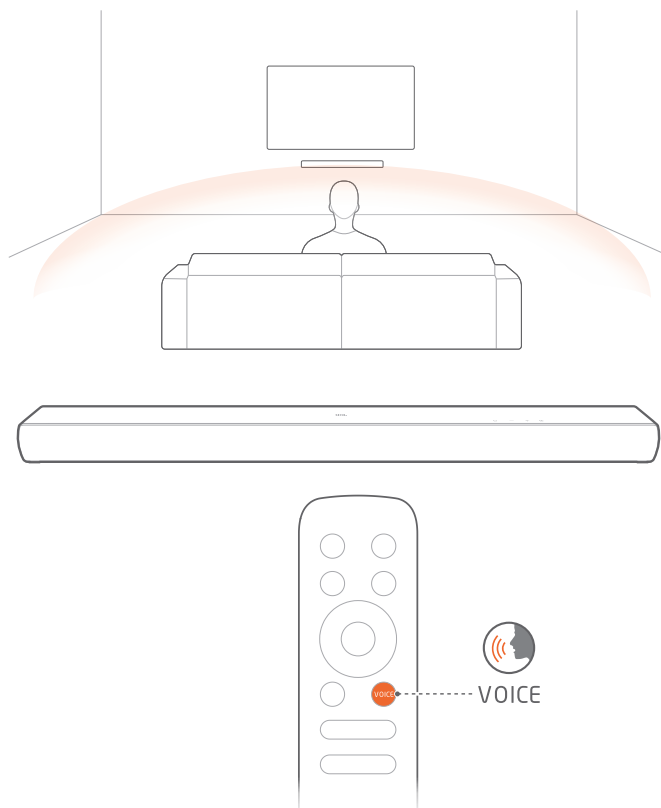
**MUSIC:** ミュージック用サウンドモード

**MOVIE:** ムービー用サウンドモード

**NEWS:** ニュースや天気予報といったTV番組用サウンドモード

### 7.2 ボイスモード

ボイスモードでは、音声を聴いて理解しやすくなるように、ボーカルの明瞭度が上がります。



- リモコンで、**VOICE**を押してボイスモードを選択してください。

## 8 工場出荷時設定への復元

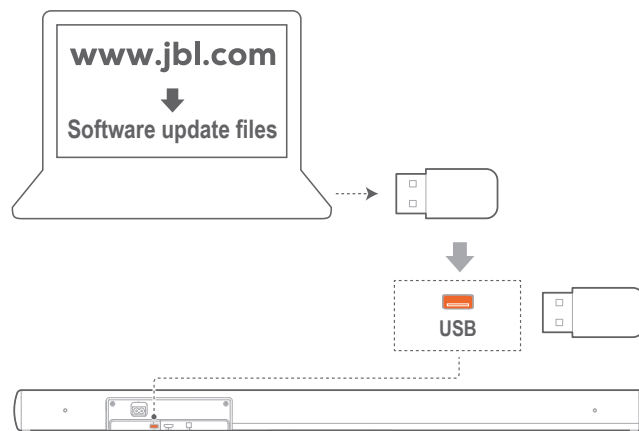
工場出荷時のデフォルト設定に復元することにより、サウンドバーの個人的な設定は全て削除されます。

- サウンドバーで、**U**と**G**ボタンを10秒以上長押ししてください。

## 9 ソフトウェアのアップデート

最適なパフォーマンスと最善の体験のため、今後サウンドバーのソフトウェアアップデートを提供する可能性があります。アップデートファイルのダウンロードに関する詳細については、[www.jbl.com](http://www.jbl.com)にアクセスするか、またはJBLコールセンターにご連絡ください。

1. USBストレージデバイスの最上階層のフォルダ(ルートディレクトリ)にソフトウェアアップデートファイルを保存したことをご確認ください。サウンドバーにUSBデバイスを接続してください。
  - USBストレージデバイスが以下の条件に適合していることをご確認ください:
    - 最大容量:64GB
    - ファイルシステム:FAT32



2. ソフトウェアアップデートモードに入るには、サウンドバーの**U**と**G**ボタンを10秒以上長押ししてください。  
→ ソフトウェアアップデートが完了すると、確認音が鳴ります。



### 注:

- サウンドバーの電源はオンのままにし、ソフトウェアアップデートが完了する前にUSBストレージデバイスを取り外さないでください。

## 10 製品仕様

### 一般仕様:

- 電源:100~240V~, 50/60Hz
- 総合出力(最大@THD 1%):110W
- サウンドバーの出力(最大@THD 1%):2x27Wフルレンジドライバー+56Wウーファー
- サウンドバーのスピーカー構成:  
2x57.15mmフルレンジドライバー、2x63.5mmウーファー
- スタンバイ時の電力消費量:0.5W
- 動作保証温度:0°C~45°C

### HDMIの仕様:

- HDMIビデオ出力(オーディオリターンチャンネル付き):1
- HDMI HDCPバージョン:1.4

### オーディオ仕様:

- 周波数特性:40Hz~20kHz
- 最大音圧レベル:82dB
- オーディオ入力:光デジタル端子x1、Bluetooth、USB(米国バージョンではUSBからの再生が可能です。その他のバージョンでは、USBはサービス用途です)

### USB仕様:

- USBポート:Type A
- USB定格:5V DC/0.5A

### ワイヤレス仕様:

- Bluetoothバージョン:4.2
- Bluetoothプロファイル:A2DP V1.3、AVRCP V1.5
- Bluetooth周波数帯域:2402~2480MHz
- Bluetooth最大送信電力:0dBm未満(EIRP)
- Bluetooth変調:GFSK、π/4 DQPSK

### 寸法:

- 寸法(幅x高さx奥行):950x62x105mm
- 重量:約2.85kg
- 外装寸法(幅x高さx奥行):1160x110x155mm
- 外装重量(総重量):約3.6kg

## 11 トラブルシューティング

絶対に、ご自身で本製品を修理しようとししないでください。この製品を使用していて問題がある場合は、点検を要求する前に以下の点を確認してください。

### システム

#### 本機の電源が入らない。

- 電源コードが電源とサウンドバーに差し込まれているかどうかご確認ください。

#### ボタンを押してもサウンドバーが反応しない。

- サウンドバーを工場出荷時設定に復元します(「8 工場出荷時設定への復元」の章をお読みください)。

### サウンド

#### サウンドバーから音が出ない。

- サウンドバーがミュート状態でないことをご確認ください。
- リモコンで正しいオーディオ入力ソースを選択してください。
- サウンドバーをTVまたは他のデバイスに正しく接続してください。
- サウンドバーを工場出荷時の設定に復元するには、サウンドバーの **⏻** と **Ⓞ** ボタンを10秒以上長押ししてください。

#### 音が歪んでいる、エコーのように聞こえる

- TVの音声をサウンドバーで再生している場合は、TVがミュート状態になっていてTVのスピーカーから音声が出力されていないかをご確認ください。

### Bluetooth

#### サウンドバーにデバイスを接続できない。

- デバイスのBluetoothが有効になっているかどうかをご確認ください。
- サウンドバーが別のBluetooth対応デバイスとペアリングされていた場合は、Bluetoothをリセットしてください(「5.2 Bluetooth接続」の「別のBluetooth対応デバイスに接続するには」をお読みください)。
- Bluetooth対応デバイスがサウンドバーとペアリングされていた場合、サウンドバーのBluetoothをリセットして、サウンドバーとBluetooth対応デバイスのペアリングを解除し、再度Bluetooth対応デバイスとサウンドバーをペアリングしてください(「5.2 Bluetooth接続」の「別のBluetooth対応デバイスに接続するには」をお読みください)。

#### 接続したBluetooth対応デバイスから再生される音質が悪い

- Bluetoothの受信状態が悪い可能性があります。ソース機器をサウンドバーに近づけるか、ソース機器とサウンドバーの間に何も置かないようにしてください。

#### Bluetooth対応デバイスとの接続が、切れたりつながったりする。

- Bluetoothの受信状態が悪い可能性があります。ソース機器をサウンドバーに近づけるか、ソース機器とサウンドバーの間に何も置かないようにしてください。
- 一部のBluetooth対応デバイスでは、電力を節約するため、自動的にBluetooth接続を停止させることがあります。この場合、サウンドバーは故障していません。

## リモコン

### リモコンが使えない。

- 電池の寿命が切れていないかどうかをご確認ください。電池が寿命の場合は、新しい電池に取り替えてください。
- リモコンとサウンドバーとの距離を縮めたり、角度を変えたりしてみてください。

### TVリモコンラーニングに失敗した。

- TVのリモコンが赤外線方式のものかどうかをご確認ください。赤外線コマンド学習機能はBluetooth方式のリモコンには対応していません。

---

## 12 商標



The Bluetooth® word mark and logos are registered trademarks owned by Bluetooth SIG, Inc. and any use of such marks by HARMAN International Industries, Incorporated is under license. Other trademarks and trade names are those of their respective owners.



The terms HDMI, HDMI High-Definition Multimedia Interface, and the HDMI Logo are trademarks or registered trademarks of HDMI Licensing Administrator, Inc.



Manufactured under license from Dolby Laboratories. Dolby, Dolby Audio, and the double-D symbol are trademarks of Dolby Laboratories Licensing Corporation.

---

## 13 オープンソースのライセンスに関する 注意

本製品はGPLの許可を得たオープンソースソフトウェアを内蔵しています。参考までに、ソースコードと関連する構築指示は <http://www.jbl.com/opensource.html>でも入手可能です。以下までお気軽にお問い合わせください:

Harman Deutschland Gmb

HATT: オープンソース、Gregor Krapf-Gunther、Parkring 3  
85748 Garching bei Munchen, Germany

または、製品のオープンソースソフトウェアに関する追加の質問がございましたら、[OpenSourceSupport@Harman.com](mailto:OpenSourceSupport@Harman.com)までお問い合わせください。



ハーманインターナショナルインダ  
ストリーズ (HARMAN International  
Industries, Incorporated) 8500 Balboa  
Boulevard, Northridge, CA 91329 USA  
[www.jbl.com](http://www.jbl.com)

© 2021 HARMAN International Industries, Incorporated (ハーманインターナショナルイ  
ンダストリーズ)。

無断複写・転載を禁じます。

JBLは、ハーманインターナショナルインダストリーズ (HARMAN International Industries,  
Incorporated) の、米国および/またはその他の国々の商標です。特徴、仕様および外観  
は、予告なしに変更されることがあります。